

平成25年12月21日（土）の「仏教女性の集い」

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。
今年も皆様方と共に念仏を喜び、近藤徹稱先生のお話を伺って、実りの多い一年にして行ければと思っております。「仏教女性の集い」にどうぞご参加くださいませ。

御法話は、法然上人御法語後篇 第26「佛神擁護」第27「転重軽受」

今回も関連性があるのでと二篇を続けてご法話をして頂きました。

—参加者感想—

念仏をして仏様の本願を信じる者は、何時いかなる時も御仏に見守られており、往生を願う者は悪鬼悪神からお救い下さる。それは病にならない。悪縁に出会わないということではなく、一声の念仏によって安らかな心持ちとなり解釈が良き方向へと向わせてくれる、日頃の心に落ち着きが自然に宿ってくる。「転重軽受」重い災いが転じて軽く受け取ることが出来る。災いを無くせることではないが、仏教を学び、念仏を喜ぶ生活をする事で仏の世界に喜びを感じる事が出来る。仏様の持つておられる智慧を受けることで、自然と心持ちが豊かになることができる。



お菓子は「初雪」 冬の訪れに相応しいお菓子で、お抹茶を頂きました。



座談会の席では、
ご法話での感想や質問が多く寄せられました。近藤先生は、他人の事をあれこれと言わずに念仏を喜べる人になりましょう。自分がどうあるべきかをしっかり感じた生活を送りましょうと道しるべを示して下さいました。

他人がどのような事に出会い・災いを受けたとしても、どうこう言うのではなく、自分自身の事、己がどうあるべきかを考える事が仏教を学ぶことであり、仏の教えであると。未熟な解釈ではあ

りますが、私はそのように理解致しました。

一年の計として「悪心、一日一減」怠け・貪り・身勝手な行動等、一日一つずつ減らして、穏やかな生活をして行きたいと思っております。

私事で恐縮ですが、昨年末の12月25日知恩院の法然上人御堂で行なわれた「御身拭式」に、この「仏教女性の集い」でご指導頂いております、隆彦院ご住職様の梅辻先生に引率して頂き参拝させて頂きました。お厨子から輿に乗せられて運び出された法然上人の座像を御門主伊藤唯真猊下が、羽二重布でお像をぬぐい清められる間、お坊様と共に御堂いっぱいの参詣者が木魚に合わせて南無阿弥陀仏と念仏する声がなんとも厳粛で感動し背筋がぴーンと伸びる緊張を味わうことが出来ました。(参加者感想 K. O)

次回の「仏教女性の集い」は平成26年2月15日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費1,000円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩150m

『吉水尼僧庵』(旧尼僧道場跡)で開催致しております。

「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで

<お知らせ>

今年、近藤先生がご法話下さいました法然上人御法語「前編」が出版されます。